



**Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.**

SNAP-ON TOOLS は皆様の安全のために、効率のために。



**Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.**

※2016年 HOT TOOLS_Vol.1～25に掲載された
「ツールセーフティ企画」を再編集した冊子です。

安全について

ハンドツール

ドライバー & エアツール

エアツール_2

「規定に合わせた設備」と「仕事量に合ったツール選び」の重要性

ソケットを使い分けよう

安全を考える

加工系ツールの危険性

「ツールの無理な使い方」～レンチ編～

「ツールの無理な使い方」～ブレーカーバー編～

「ツールの無理な使い方」～プライヤー編～

「ツールの無理な使い方」～ハンマー編～

「ツールの無理な使い方」～スクリュードライバー編～

トルクレンチの基礎

トルクレンチの無理な使い方

トルクレンチの保守とその重要性

「計測測定する機器」はそのものが計測測定されている

ツールストレージを永く安全にお使い頂く為に

仕事の歴史は工具が語る

安全確認強化

安全確認強化_2



**Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.**



※カタログには「安全に関する注意事項」が詳しく記載されていますので必ずお読みください。

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

仕事に見合った工具選びは安全第一と効率のよい仕事への姿勢です。多くのツールは単純明快で使い方も簡単に作られています。しかし、時にそれが原因でハンドツールに与えられた機能以上の能力を期待し、ツールに仕事をさせてしまう事があります。SNAP-ON TOOLSが提唱する安全項目を常に忘れてはなりません。安全項目、それは

- **Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。**
(常に安全を考え実行に移す)
- **Use the right tool. 正しい工具を使用する。**
(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- **Use the tool properly. 正しく工具を使用する。**
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- **Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。**
(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLS は皆様の安全のために、効率のために。



**Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.**



固く締まっているのか、それとも緩いのか?

これから外そうとするボルト/ナットの締め具合は世界中の誰に聞いてもわかりません。

ツールを手にする前に考えてみてください。

- 力のかけ具合はどれくらいにするのか?
- 外れる際に部品が落ちてこないか?
- 万が一ボルト/ナットもしくはツールが壊れたらどうなるのか?
- 薄口タイプやスモールヘッドは小回りが利いて便利だが、他のツールや正しい方法は無いのか?



⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

手持ちのツールでは固くて外れそうにない場合、正しい対処例は?

①パイプなどで延長する。②レンチに乗る。③蹴飛ばす。

①から③は全て不正解です。

正解は「スナップオンに相談する」です。

- **Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。**
(常に安全を考え実行に移す)
- **Use the right tool. 正しい工具を使用する。**
(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- **Use the tool properly. 正しく工具を使用する。**
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- **Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。**
(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

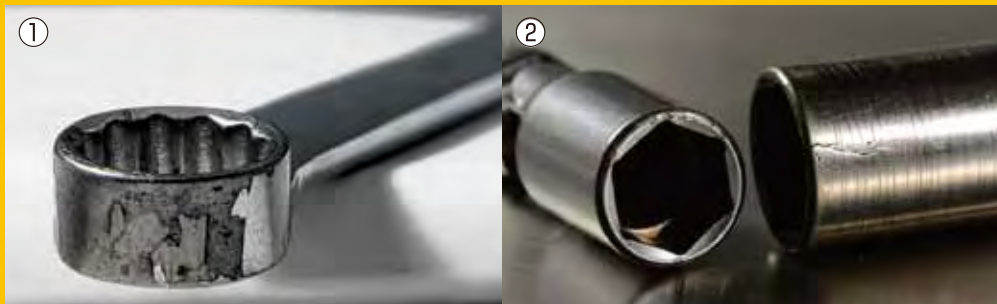
SNAP-ON TOOLS は皆様の安全のために、効率のために。





Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.

ご存知の通り、多くのハンドツールは表面のクロームとSnap-onスペシャルブレンド鋼で構成されています。左側のボックス部分はクロームが欠けています。ボックス部分をご覧ください。クロームが欠けています。(画像①)



⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

スナップオンのハンドツールはちょうど良い「シナリがあって力を含め易い」設計と言われます。柔らかい針金と同じ場所を繰り返し曲げていると折れてしまう事と同様、ハンドツールも弾性限度内で伸び縮みの繰り返し(金属の疲労)や金属が伸びる限度を超えた瞬間(破断)に一番弱いところからヒビが入って割れてしまいます。(画像②) 工具の世界ではそれらを消耗・摩耗や不適切な使用などと表現します。そのような場合、破片が飛散して大変危険ですし、整備する対象物にも損害を与えてしまう可能性があります。

Use the tool properly. 正しく工具を使用する。
SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.

「シナリ=弾性限度」は金属の種類や疲労度によって変わります。「ヤング率」に当てはめるとクロームは279GPa、鋼は200GPa ちょっどです。レンチの「鋼」が表面の薄い「クローム」よりも低い力で伸びてしまうのです。「シナリ=弾性限度」はそれぞれのツールが持つ実用的な強度であり、破損してしまった場合「それ以上の力が加わった」「金属疲労の結果」もしくはその両方と言う事なのです。

それぞれの「シナリ=弾性限度以内」を心がけて安全にお使いください。

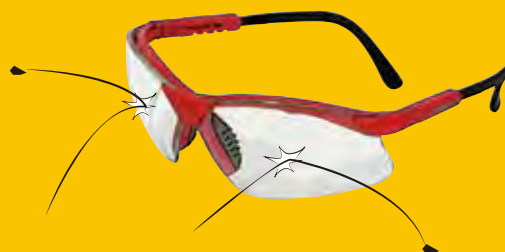
⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

タップやダイス等も「鋼」ですが、炭素を含ませたり熱処理を施して耐摩耗性を高めています。その反面、「硬くてもろい」金属になります。ラチェットハンドルやレンチ類に力を含める際に「シナリ」を感じるのと同様、タップ・ダイス作業も「シナリ」を感じながら「進めて戻して」を繰り返すと思います。一気に力を掛けたり、「シナリ」や消耗・摩耗を意識せずに作業を行う事はレンチもタップも同じく大変危険な行為です。慎重に、じわっと力をかけて、ツールがその作業に適しているかどうか、消耗・摩耗していないか等にも注意が必要です。



- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
(常に安全を考え実行に移す)
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。
(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

SNAP-ON TOOLS は皆様の安全のために、効率のために。





**Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.**

スナップオンのフラットチップ・スクリュードライバーは回転方向にかかる力に対して適切な熱処理を施した合金鋼から作られています。この熱処理と素材は耐摩耗性を高める効果があります。その結果、硬度が高まり、隙間を広げるなどの作業にも用いる「てこ」として使用した場合、簡単に破損します。そのためプライバーやタガネの代用として用いることは破片が飛び散る可能性があります大変危険です。

※不適切な使用は安全をおびやかすだけでなく、製品保証の対象外です。



WARNING NOT A PRYBAR CHISEL OR PUNCH

プライバー、チゼル、ポンチではありません。



ツールセーフティメッセージ

スナップオンのプライバーブレードは精密な鍛造と熱処理によって「てこ作用」に特化した設計になっています。しかしながら、力のかかり具合によっては先端が欠けることも想定される危険なツールです。必ずセーフティゴーグルの着用をお願いします。

※ご使用による消耗、摩耗、破損は製品保証の対象外です。

- Use approved eye protection. セーフティゴーグルの着用。
(常に安全を考え実行に移す)
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。
(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

WARNING WEAR SAFETY GOGGLES

セーフティゴーグルを着用する。



SNAP-ON TOOLS は皆様の安全のために、効率のために。



**Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.**



使用前に外観にひび割れ等がないか確認します。



給油しないとベアリングもご覧の通りに。



エアの汚れが排気口にも。

エアツールのメンテナンスについて (エアモーターオイル編)

エアツールは高回転のエアモーターで動いています。摩擦や抵抗を抑え、洗浄効果があるオイルを入れないと・・・パワーの低下。さらにサビで固着?? 部品同士が擦れ合い、消耗や摩耗が早く進んでしまいます。パワーが無いので作動時間が長くなる=圧縮空気をたくさん使う(電気代がかかる) 作動時間が長いので部品の消耗が早くなる=故障の原因(余分な修理代がかかる) さらに錆が発生して焼き付いてしまいます。(画像は錆の例です)



ツールセーフティメッセージ
どうすれば良いのか??

自動車のエンジンと同じく、適正なオイルの給油で擦れ合う部品同士の摩擦を低減すれば本来のパワーを維持しながら内部を潤滑&洗浄して大切なツールは長持ちします。使用の前と後に



スナップオン純正エアモーターオイル IM1PT を 2、3 滴程入れて空回しするだけです。あらゆるツールに言えることですが、日々のメンテナンス代は壊れてしまった時の修理代よりはるかに安く抑えられますよ。

**Maintain the tool regularly.
常に工具を整備する**



使用前後に必ずニップル部分から適量を給油します。

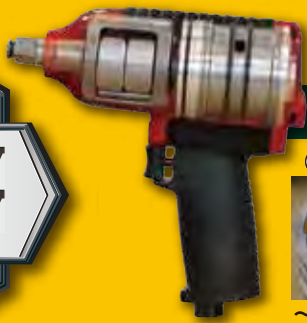


空回しを行い、排気口からの汚れが無くなるまで繰り返すのがベスト。コンプレッサーの定期的な水抜きも行ってください。





Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.



「エアツールの基本」図解!! エアモータ室とハンマー室 作動する仕組みを理解しよう!



- ～エアモータ室～
圧縮空気の流れ
- ①ニップル
 - ②バルブ/トリガー
 - ③正逆切り替えバルブ
 - ④チャンバー
 - ⑤ペーン(ローターの回転力へ変換)
 - ⑥ローター
 - ⑦排気ポート



- ～ハンマー室～
回転力を衝撃力へ変換!
- ⑧ハンマーケージ
 - ⑨ハンマードッグ
 - ⑩アンビル

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

エアツール使用時の心得



圧力、流量をしっかりと確保

- 全開運転の時、620kpaになるようにエアレギュレータを調整。
- エアツールに対応できるコンプレッサーの容量を確保。
- エアホースは「短くて太い」が流量確保の理想。
太くて短いストローと長くて細いストローの違いを思い浮かべてみてください。
細かったり長かったりすると流量と圧力が下がります。

日々のメンテナンスとオーバーホール

- 日々の手入れの際と使用前にはエアモーターオイルで潤滑。
(洗浄や防錆だけではなく、油膜の形成でパワーロスを減らす)
- 内部部品の消耗と共にパワーが下がってしまった場合は、スナップオンの定額修理で新品時のスペックへお戻しします。

仕事量と衝撃力のバランス

- トルク(仕事量)と衝撃力を適合させる。(ラインナップは加盟店へお問い合わせください)
- インパクト用のソケットを使う。(衝撃力をしっかりと伝達)

■ Use approved eye protection.
セーフティゴーグルの着用。
(常に安全を考え実行に移す)

■ Use the right tool.
正しい工具を使用する。
(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)

■ Use the tool properly.
正しく工具を使用する。
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

■ Maintain the tool regularly.
常に工具を整備する。
(整備は次の作業に必要不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。

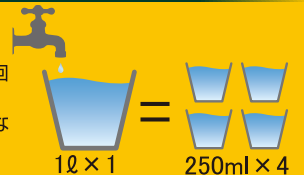


Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.



～ 設備 ～コンディションを整えよう。 コンプレッサーの容量と仕事量のバランス

たとえば、容量250mlの小さいコップと、容量1ℓの大きなコップがあります。コップを大小のコンプレッサーに置き換えると、1ℓの仕事量をこなすために、大きいコンプレッサーは1回の起動で済むのに対し、小さいコンプレッサーは4回も起動する必要があります。起動する=タンク内圧が4回下がるという事です。4回も圧力が下がってしまえば安定した圧縮空気が供給されませんね。余分な電気代も掛ります。



<配管の太さと長さ>

細いホースの中では圧縮エアの渋滞が起きています。太いホースに取り換えて渋滞を解消しましょう。

ホース内 スムースな
の渋滞 ホース内

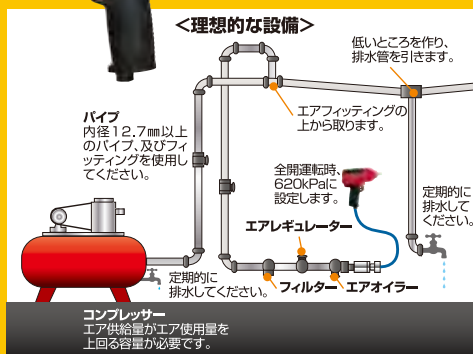


<空気を集める=水分も集まる>

気温、湿度共に高い日に10m³の空気を大気圧の10倍まで上げると約200cc程度の水分が溜ってしまいます。(圧縮工程1回分)ドレン抜きをして、エアツールへの水分混入を防止しましょう。

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

エアツール 設備の心得



エア配管の「太さ」と「距離」

- 「短くて太い」が流量確保の理想。
(エアツール本来のスペックに大きく影響します)
- 安全で効率の良いエアホースを使用する。
(加盟店へお問い合わせください)

重要と供給のバランス

- エアツールに対応できるコンプレッサーの容量を確保。
(個々のエア消費量は取扱説明書に記載されています)

こまめな水抜きを

- 水蒸気から水となってエアツールへ流れ込み、故障の原因になります。
- 短いスパンで定期的な水抜きを行いましょう。
(余分な修理代も減らせます)

■ Use approved eye protection.
セーフティゴーグルの着用。
(常に安全を考え実行に移す)

■ Use the right tool.
正しい工具を使用する。
(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)

■ Use the tool properly.
正しく工具を使用する。
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

■ Maintain the tool regularly.
常に工具を整備する。
(整備は次の作業に必要不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



**Do it Safely...
Do it Right with
Snap-on Tools.**

「規定に合わせた設備」と 「仕事量に合ったツール選び」 の重要性。

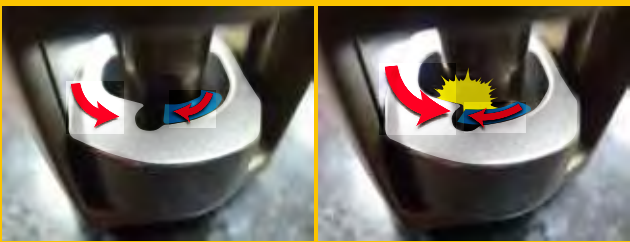
エアツールにはそれぞれ規定された使用条件があります。
規定を超えた使い方をすると早期消耗・破損の原因になります。



過酷な条件で使用し続けると、ツール自身の強度を超えてしまい
ソケットやアンビルは目に見えて摩耗していきます。
それでは目に見えない内部はどうなっているのでしょうか？



■常に擦れながら機能する「ベーン」
圧縮空気を横方向から受け、エアツールの回転力を生み出すベーンは、高速で出入りを繰り返す過酷な状況下にあります。規定以上の圧力を受けると異常な早さで消耗します。



■衝撃を生み出す
アンビルドッグ&ハンマードッグ。
衝撃を生むということは、同時に衝撃を受けているという事。アンビルドッグとハンマードッグは強い力でぶつかり合っています。「エア圧力が高い」「ボルトが固すぎる」場合はこの部分を傷めます。

適正なエア圧でも壊れる？!

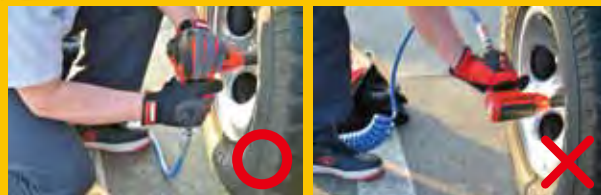
インパクトレンチの能力以上にボルトが固い場合、どうしても作動時間を長くしてしまいがち。「あれ？緩まない」と思うようなら、仕事量とツールのバランスが合っていない。大切なツールを壊してしまう前に違う解決方法を。

インパクト(衝撃)力を上手に伝達するコツとは?! ※エアインパクト/電動インパクト共通

- 1 ボルト/ナットの芯とインパクトレンチの芯を直線上に合わせる。
- 2 バタ付きをしっかりと押さえる。
- 3 適切なソケットを使う。



芯を出さず、角度が付いた状態で作業すると、回転バランスが悪く、力が分散します。また部分的に高負荷がかかるため、ボルト・ナットまたはツール自体の摩耗の原因になってしまいます。



力の発生源が逃げてしまえば、せっかくの伝達力が下がってしまいます。力が逃げないように、両手でしっかり固定しましょう。



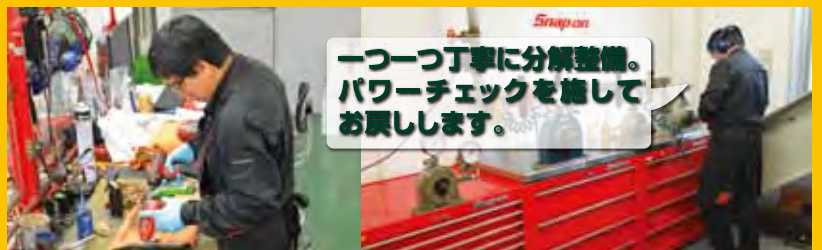
インパクトソケットが摩耗していてもインパクト力が失われます。

ツールセーフティ メッセージ

- Use the tool properly.正しく工具を使用する。
(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly.常に工具を整備する。
(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

「スナップオン・フラットレートシステム」を利用しよう。

「パワーがなくなってきたけど修理して大切に使いたい…」
スナップオンはその気持ちにお応えします。
製品ごとに設定された定額料金
(フラットレート)で規定のパワーに!





Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.

ソケットを使い分けよう。



インパクトレンチが発生する「衝撃」を効率良く伝達する

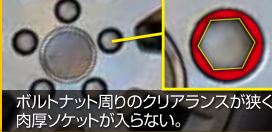
スナップオンのインパクトソケットはインパクトレンチとボルト・ナットの間で消耗する事を前提に、肉厚を多めに、素材の硬度を柔らかく(低く)設定しています。これは破損し難くする効果と同時にその重さを利用して衝撃を効率良くボルト・ナットへ伝達する効果をもたらします。さらに、スナップオンには同じサイズでも肉厚が異なるインパクト用ディープソケットがラインナップされています。



インパクトレンチ



薄ロインパクトソケット



ボルトナット周りのクリアランスが狭く肉厚ソケットが入らない。

薄ロインパクトソケットの特徴と利点

肉厚をそぎ落とした薄型設計で、アルミホイールのようにクリアランスが限られている場合にもってこいです。

肉厚インパクトソケット



ボルトナット周りにクリアランスが十分あり、肉厚ソケットの使用が可能。

肉厚インパクトソケットの特徴と利点

パワーツール、ボルト・ナットとの間で消耗しながら双方を守る。ずっしりとした重量で衝撃を効率良く叩く効果を十分に発揮する。

使い分けのコツ

狭い場所は薄ロソケットしか使えません。スペースに制限が無いのであれば「叩く」ことが得意な肉厚ソケットを使いましょう。消耗を早めてまで薄ロソケットを選ぶ必要はないのです。日常には「大は小を兼ねる」事が多々ありますよね。しかし、ツールを選ぶ場合は「大は小を兼ねない」「小は大を兼ねない」ことが「安全で正しい選び方」になるのです。

なぜ同じサイズ、同じ作業なのに違うツールを選ぶ必要があるのか?

スナップオンには他にも様々な種類のソケットが用意されています。「安全性」「トルク値」「作業の場所」「アクセス性」等々、あらゆる条件に対応するためにあるのです。しかし、使い方を誤ると大変危険です。

エアラチェット



パワーソケット



スナップオンのパワーソケットはエアラチェットに効果的です。インパクト用とハンド用の中間にあたる硬度と耐摩耗性を備えているため、沢山のボルト・ナットに対し安全に、効率良く、仕事をこなしてくれます。

WARNING NONIMPACT

パワーソケットはインパクトには使用できません。

使い分けのコツ

エアラチェットにインパクトソケット&インパクト用エクステンションの組み合わせも相性抜群です。

ハンドラチェット



ハンド用ソケット



スナップオンのクローム仕上げツールは、すべてハンド用です。耐摩耗性に優れ、肉薄設計でもおなじみですね。これらをパワーツールに誤って使用した場合、硬度が高いため衝撃が伝わらないばかりか、破損した場合とても危険です。ハンド作業以外に使ってはなりません。また、クローム無しのハンド用(インダストリアル・フィニッシュ)をパワーツールに使われているのを見かける事がありますが、絶対にパワーツールには使用してはいけません。

WARNING NONIMPACT

WARNING NONIMPACT

ハンド用ソケットはパワーツールには使用出来ません。

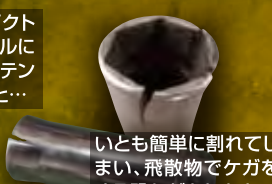
使い分けのコツ

ハンド用ソケットで固い場合はレンチなどを使用してから、ラチェット&ソケットで早回し作業。「急がば廻れ」も「安全で正しいツールの選び方」なのです。

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠ ~不適切な使用の一例~



エアラチェットやインパクトレンチなどのパワーツールにハンド用ソケットやエクステンション等を組み合わせると...



いとも簡単に割れてしまい、飛散物でケガをする恐れがあります。



スクエアサイズを変換できる大変便利なアダプターシリーズも主にハンド用です。ソケットのサイズを大きくできても、伝達トルクが上がるわけではありません。当然、インパクトレンチには、使用できません。

※不適切な使用は保証の対象外となります。

■ Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)

■ Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。

安全を考える。



**Do it Safely...
Do it Right with
Snap-on Tools.**

SNAP-ONと共に

事故や怪我の防止に取り組みましょう!

全てのツールは人のチカラでは不可能な事を可能にしてくれます。その代わり、想像以上のチカラがかかっている事を忘れないでください。普段のお仕事にも沢山の危険が潜んでいます。もし、少しでも危険を感じるのなら、直ちに止めて改善しましょう。なぜならそれは、黄色信号ではなく「赤信号」であり、大きな危険はそのすぐ先に潜んでいるからです。

ラチェット/各種ハンドル 豊富な種類

力の入れ過ぎで思いがけず手(足)が滑ったり、工具が壊れることがあります。急に力が抜け、体勢を崩すと、転倒やケガにつながります。

インパクトレンチ 高回転でハイパワー

消耗したソケットを使用すると割れたり、飛び散ることがあります。

プライバー てこの原理で力持ち

てこがすっぽ抜けると反動も倍力。跳ね返ったとしたら、さらに危険です。

パワーツール全般 切る削る磨く

電源やスイッチが不意に入り、動き出すことがあります。必ず電源を切りましょう。

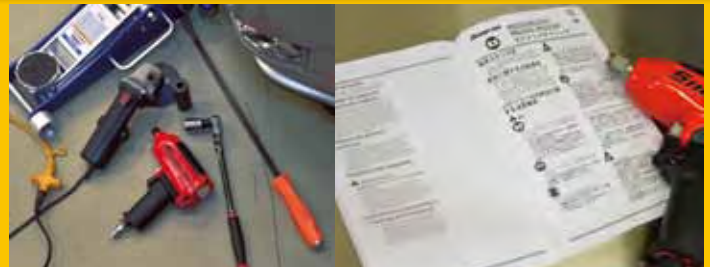
ガレージジャッキ・リジッドラック クルマを地面から宙へ

高さや角度で常に条件が変わるため、ポイントや向きを何度も確認してください。

※写真はイメージです。危険な使い方を表現するため、画像加工及び、安全を確認した上で撮影しています。絶対に真似をしてはいけません。

安全に対する意識を高め、事故を防止するには?

- ツールの使用方法や警告に対して良く理解をする。
- 正しい知識を持ち、ツールの限度に対しては常識に沿った運用を行う。
- 身体を保護する。周囲にいる人へも危険を伝える。
- 「安全なのか」「危険なのか」常に先を想像する。
- 危険性は常に自身に問う事で予測が可能。上記の事例や教科書に頼って事故防止ができるとは考えない。



安全をサポートする
セーフティグッズ



セーフティゴーグル



グローブ

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠

Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。(常に安全を考え実行に移す)
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。

加工系ツールの危険性



Do it Safely....
Do it Right with
Snap-on Tools.

普段から使うハンドツールとは異なり、少し特殊な場面で登場するドリル、グラインダー、ソーなどの加工系パワーツール。コードレス化や軽量化、ハイパワーで身近な存在になってきました。しかしハイパワーになった分、大きな怪我につながりやすく、危険の頻度も増えたと言えるでしょう。ここでもう一度、加工系パワーツールの危険性についてしっかりと向かい合いましょう。

ドリル

金属を切りながら進む結果、穴が開くのがドリル。鋭い刃物が強力なパワーで回転している事を忘れないでください。

DANGER!

グラインダー

高回転・高トルクです。人体ではとても太刀打ちできません。火災の元となる火花にも注意。

DANGER!

ソー

細かい切子が発生します。それらは発熱したまま飛散します。目に入ったとしたら・・・。

DANGER!

※写真はイメージです。危険な使い方を表現するため、画像加工及び、安全を確認した上で撮影しています。絶対に真似をしてはいけません。



たとえば、身近で便利な「カッターナイフ」も使い方を誤ると大変危険ですよ。加工系ツールも「穴を開ける、切る、削る」モノですが、絶対に身体に行ってはならないのです。

＋ 安全に対する意識を高め、事故を防止するには？ ＋

- 作業は慌てて行ってはなりません。段取り良く、余裕をもった作業を心がける。
- 身体の保護や対象物の固定をしっかりと行うなど、準備を怠らない。
- 作動時以外は電源が切れているか確認する。
- 飛散物や火花など、周囲へ及ぼすアクシデントの元である事を認識する。

⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠

Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。(常に安全を考え実行に移す)
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)



フェイス
プロテクター

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



「ツールの無理な使い方」 ～レンチ編～

スタンダードな作業に出動回数が多いレンチ。そんな身近なツールにも
使い方次第では危険が潜んでいる事を忘れてはいけません。
たとえば、こんな使い方に心当たりがありませんか？

先掛け



低トルク時には問題
ありませんが、トルク
が掛かると「開き」や
「割れ」が生じます。



距離が足りないのであれば
リーチの長いツールを別に
用意する事で安全・確実な
仕事を可能にします。

斜め掛け



スペースに余裕がない
場合に良くある無理な
使い方です。
「斜め掛け」＝「先掛け」
でもあるため、力の
抜けやすい条件が揃っている事を
認識しましょう。



オフセットタイプのレンチを
選びましょう。
正しいツールの選択は
「安全で良い仕事への近道」
なのです。

2本掛けorパイプ掛け



延長させて長さを稼いだとしても、レンチ部分の強度
は変わらないので高トルクを発生する事はありません。
製品に与えられた強度をカンタンに超えてツール自体を
破損させてしまうことに。



必要なトルクに見合ったボックス&プレーカーバー
を使用しましょう。

上記は適正な使い方ではない一例に過ぎません。
ときに、「普通」と思ってもツールが破損する事があります。
それは「無意識に」ツールへ強度以上の力を与えてしまった結果なのです。
それぞれのツールをしっかりと理解して無理な使い方をしないようにしましょう。
無理な使い方による破損は保証対象外となります。

保証規定につきましては
弊社ホームページでご覧
いただけます。



レンチを使った作業は自分の姿勢やバランスが確保されていれば「引く」事が基本です。作業に見合ったレンチ
を選ぶ事が安全な作業に繋がります。ツールの正しい選択と正しい使い方は安全で迅速な仕事の条件です。



OFFSET WRENCH ディープオフセット
ボックスレンチ
60°オフセットで障害物避け、奥まった場所にあるボルト
やナットにアクセスする事ができます。



Snap-on XOM1719

1/2" DRIVE BREAKER BAR プレーカーバー
足周りメンテナンスの必需品。



[最大推奨トルク] 447N・m [全長] 610mm



Snap-on SHBB24

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



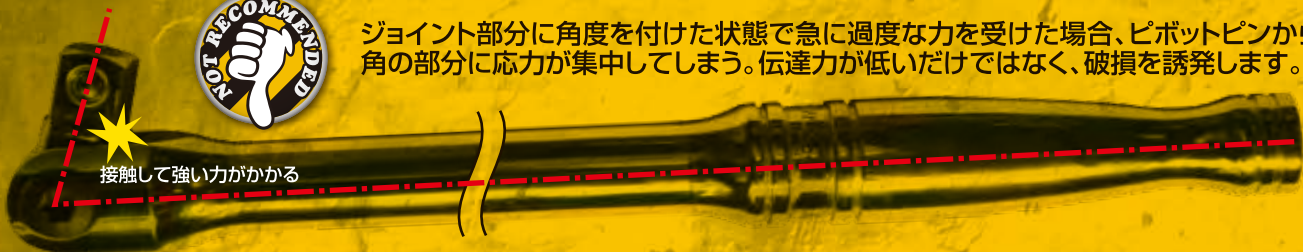
「ツールの無理な使い方」 ～ブレーカーバー編～

長めのハンドルとソケットの組み合わせでしっかりとトルクを伝達する。そんな身近なブレーカーバーにも使い方次第では危険が潜んでいる事を忘れてはいけません。まず覚えて頂きたいのは、「ハンドルが長くても許容のトルクが上がる訳ではない」という事です。

※画像は加工を施した間違った使い方の一例です。絶対に真似をしてはいけません。



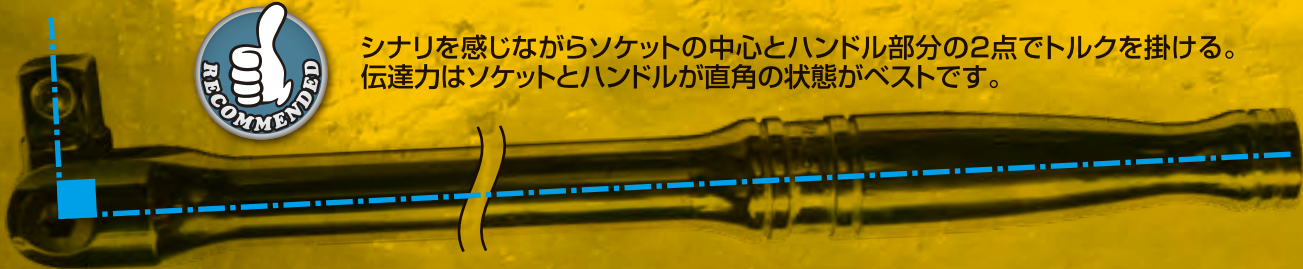
ジョイント部分に角度を付けた状態で急に過度な力を受けた場合、ピボットピンから角の部分に応力が集中してしまう。伝達力が低だけでなく、破損を誘発します。



接触して強い力がかかる



シナリを感じながらソケットの中心とハンドル部分の2点でトルクを掛ける。伝達力はソケットとハンドルが直角の状態がベストです。



「無理な使い方」は無意識のうちにってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。保証規定につきましては弊社ホームページをご覧ください。

保証規定につきましては弊社ホームページをご覧ください。



それぞれの最大推奨トルクは差し込み角によって変わります。

ハンドルの大小に関わらず、急激な力を掛けた場合、ツールが持ちうる強度を超える事があります。また、力を入れる際はジョイント部分と本体を接触させない事が重要です。ツールの正しい選択と正しい使い方は安全で迅速な仕事の条件です。

ドライブサイズ	最大推奨トルク ハンド用 ハンドル/エクステンション					
	ラチェット	ブレーカーバー	エクステンションバー スタンダード	エクステンションバー ウォブル	スライド式 Tハンドル	スピーダー
1/4"	38	38	38	27	38	27
3/8"	108	108	108	75	81	45
1/2"	386	447	319	156	319	115
3/4"	963	963	963	-	678	-
1"	1587	1356	1587	-	1587	-
1-1/2"	2604	-	4522	-	2488	-

※コンパクトヘッドタイプはベースモデルのギャサイズが推奨トルクです。 単位: N・m



1/2" BREAKER BAR

【全長】914mm
【最大推奨トルク】447Nm

SN36



3/4" BREAKER BAR

【全長】914mm(ハンドル部分)
【最大推奨トルク】963Nm

L872RM



BREAKER BAR HEAD



L8112A

⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用することにより安全に繋がります)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。





「ツールの無理な使い方」 ～プライヤー編～

つかむ。引っ張る。切る。身近なツールにも使い方次第では危険が潜んでいる事を忘れてはいけません。まず覚えて頂きたい事は、「つかむ・切る工具はこじる工具ではない」という事です。安全の為には、用途に合わせた適切なモノを、スナップオンの豊富なラインナップからお選びください。

ニードルノーズプライヤー



よじれ方向の力はジョイント(カナメ)の消耗を早め、破損の恐れがあります。よじれで破損した場合、飛散等で思わぬ怪我の原因となります。



ニードルタイプは先端へ行くほど強度は下がります。先端に極端な負荷がかからないようギザギザ全体で対象物を掴みましょう。



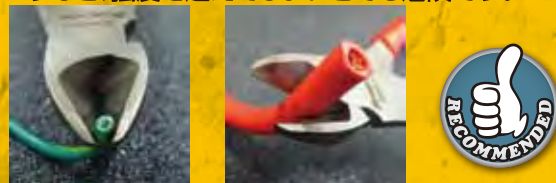
手元にあるニードルノーズを使ってしまいがちですが、不適切な使用は先端部分の過度な使用は、破損の可能性が高くなります。

カッター

切ろうとする対象物の選択は慎重に。



無理に切ろうとして衝撃を与えたりグリップを延長させたりすると、強度を超えてしまいとても危険です。



カッターの使い分けは安全の為にはとても重要です。先端は細い物、根元部分は太めの物に使います。

スナップリングプライヤー



スナップリングはバネ鋼製なので、破損やリングの飛散で思わぬ怪我をする事があります。リングサイズに合わせたスナップリングプライヤーを使いましょう。

+ プライヤー使用時の心得

大きさや形状、硬さなど、用途に合わせた工具を揃える。固い物が切れるカッターはとても危険です。不必要に開いたまま放置しない。ジョウやジョイントに付着した汚れを取り除く。必要に応じて防錆処理を。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。



破損時の破片やスナップリングの飛散から目を守ります。ツールの正しい選択と正しい使い方は安全で迅速な仕事の条件です。



クリアラズ

GLASSGOR	RED
GLASSGOBK	BLACK
GLASSGOSAP	SAPPHIRE BLUE

⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



「ツールの無理な使い方」 ～ハンマー編～

古くから考えを曲げない様子をトンカチの様に頭が固いと言います。まず覚えて頂きたい事は、「安全に対してトンカチ頭になる」と言う事です。

危険な使い方例

たった一撃でも、ハンマーはとても危険なツールである事を認識しましょう。



ハンマーの端で叩く。

打撃面の中心以外が対象に当たった場合、衝撃が相手に伝わらない。角付近に当たると受けやすいため、とても危険です。



打ち損じ。

ハンマーは側面に強い衝撃を受けると壊れやすくなります。また、柄に当たった場合、折れてヘッド部分が飛ぶ事もあり危険です。



ハンマー同士で叩く。

ハンマーはそれぞれ独特の硬さを持っています。硬いものでお互いに叩くと相打ちになり呆気なく破損し、被害は想像を超えます。



左図のように、打撃の瞬間は対象物とハンマーの中心が揃った状態がベストです。

+ ハンマー使用時の心得

- 身体を保護する。
- 使用前にはヒビや破損が無い点検する。
- 周囲の人や物から距離をとる。
- 油分や水分を拭き取る。
- 打撃面の中心で叩く。
- 用途に合わせたツールを用意する。
- 振りかぶったり、叩き過ぎなどに注意する。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページをご覧ください。▶▶▶



～関連ツールでハンマー作業を安全に～



PPC5A



ポンチ&チゼルセット

PPCSG710

⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



「ツールの無理な使い方」 ～スクリュードライバー編～

「ネジを回す」といった、ツールの基本だけに忘れがちな使い方の注意点を。まず覚えて頂きたい事は、「ドライバーの基本は押し7、回し3。安全第一100、危険な使い方0(ゼロ)の割合で」という事です。



叩かない

ツールの特性を生かせずに消耗を早め、破損した場合とても危険。



コジらない

用途の違いは不適切な使用です。



斜め回し禁止

痛めてしまうのはネジだけではなく、ツールも傷んでしまいます。



危険な
使い方例



インパクトドライバー

ハンマーで優しくコンコンで十分です。強く叩く必要はありません。



プライバー

こじり作業時の安全の為に、豊富なラインナップから適切な物を選びましょう。



スタブドライバー



作業に合った
専用のツールを
使いましょう。

＋ スクリュードライバー使用時の心得

- 身体を保護する。
- スクリューに合わせたサイズのツールを用意する。
- 基本の押し7、回す3の割合を必ず守る。
- ツールの正しい選択と正しい使い方は安全で迅速な仕事の条件です。
- スクリューとツールの軸を出して回す。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。



～安全の確保と余計な労力は正しいツールでカバーしよう!～



インパクトドライバー

ハンマーの衝撃をカム動作によって回転力に変換し、締め緩めができます。



PIT120

プライバー



全長:203mm
SPBS8R

可変プライバー



全長:203mm
PBMP8A

⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



目に見えないトルクを測定し、 スペック通りの締結力を与える… トルクレンチの基礎

スナップオンには優秀なトルクツールが揃っています。それらは他のツールと一線を画する「測定機器」です。代表的なモデルで構造や仕組み、取り扱いについて勉強しましょう。

角度締めセンサー内蔵

例：デジタルタイプ（精度CW±2% CCW±3%）

高精度の歪みセンサーからフィードバックされた信号をトルク値にデジタル換算。感覚ではなく目視で正確な測定が可能。角度締めセンサーも内蔵された正に「精密電子機器」。



歪みセンサー



歪（ひずみ）センサーとは

金属の伸縮で発生する電気抵抗値の変化を利用した力学的センサー。変形する物体に貼り付けることで電気抵抗値の変化をひずみ量に換算します。



抵抗体

電極部



物体が伸びると→抵抗値(Ω)が上がる。物体が縮むと→抵抗値(Ω)が下がる。



EYEPROTEC



INFO



EXTENDER
NO OVERTORQUE

- ・セーフティーゴーグルを着用してください。
- ・定格トルクを超過しないでください。
- ・固く締まったボルト・ナットへの使用はお止めください。
- ・フレックスヘッドの可動範囲内で使用してください。
- ・定期的に校正を行ってください。

+ トルクツール使用時の心得

使用する側にも「精度」が求められる。

デジタル、クリック、メーター…「計測機器」全ての取り扱いは至って丁寧に。本体やセンサー、制御機構に衝撃等を与えてはいけません。水分、湿気、埃も「精度」を著しく低下させます。専用のケースに収納して整った環境で保管しましょう。

クリックタイプは内部部品が機械式ならではの消耗が起こります。放り投げたり、落下など衝撃を与える事などはもってのほかです。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。▶▶▶



⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



トルクレンチの 無理な使い方

今回は内部の構造と丁寧に扱う重要性をお伝えしました。
トルクツールも当然、本来の用途以外で使用してはなりません。



ブレーカーバー/ロングハンドルの の代わり



ラチェットとして考えると長いハンドルに見えますが、強度は測定値の上限に合わせて設計されています。計測機器に力仕事をさせてはいけません。



パイプなどで延長



レバー比が狂ってしまい測定値が全く違う結果に・・・また、強度を簡単に超えてしまいます。これはとても危険です。



落下

ノギスやマイクロメータなども落下はダメですよ。トルクツールも同様、一撃で内部の構造を破壊し、精度に悪影響を及ぼします。



水分(湿気)

雨天での作業もあると思いますが、水ぬれに注意して扱しましょう。表面に水分が着いてしまった程度ならすぐに拭き取ります。湿気も大敵です。



埃や塵等

屋内外問わず埃や塵等も測定機器にとっては大敵です。細かな異物も嫌うほどの「緻密な内部構造」に「高い精度」は支えられているのです。

番外編「なにげに多く見られる「OUT!」な事例」

灯油や溶剤での洗浄

汚れを落とすためでしょうか? 灯油に漬けたりブレーキクリーナーで洗浄してしまったり・・・内部の専用グリスを洗い流してしまい防錆効果もゼロに。せっかくの精度を落としてしまいます。



火気

トルクツールにとって、火気や熱による影響も精度や強度に直接関係します。とはいえ火気注意は全てに於いて言える事ですね。火の用心!



磁気

デジタル式は無論、磁気には要注意ですが、機械式のトルクツールも本体に磁気を帯びてしまう事で細かな塵を寄せ付け、精度に直接関係します。



使用前には必ず説明書を読みましょう。



セーフティゴーグルを着用してください。



定格トルクを超過しないでください。



- ・固く締まったボルト・ナットへの使用はお止めください。
- ・フレックスヘッドの可動範囲内で使用してください。
- ・定期的に校正を行ってください。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまうことがあります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。▶▶▶



⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



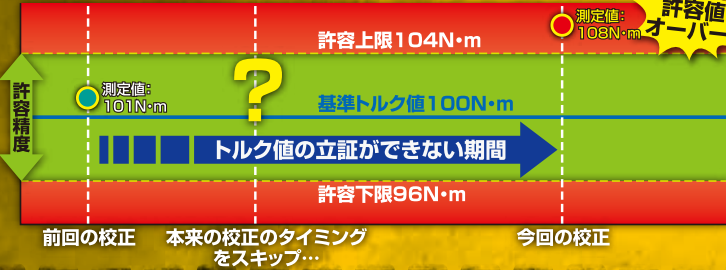
トルクレンチの保守とその重要性



「湿気や水分による内部の錆」や「不意の落下」。
「内部の消耗が今、どうなっているのか？」
本当の事は誰にもわかりません。
不具合があるかもしれない期間に
どれだけのボルトを締めていたのか…？
そのリスクを下げる為に「トルクツールの校正」を行います。

校正を行わないと…どうになってしまうの？

例：精度許容値±4%モデルの場合



トルクツールはそれぞれに許容精度範囲を設けてありますが、使用の過程でその範囲から外れる場合があります。お客様の車を整備するに当り、ご使用の期間中に正しい精度で作業を行えたかどうかを認識しなければいけません。定期的に校正する事は、トルクツールの状態を把握しトラブルを回避する最善策となるのです。

オーバーホールと校正作業

校正とは、壊れて修理を行うことではなく、トルクツールの現状(精度・機能・動作)を確認することです。



1本ずつ分解、点検を行い精度を維持する為の専用グリスを塗り付けます。グリスは防錆効果の役割もあります。

専用のテスターを使用して、校正作業を行います。テストを合格したトルクレンチは、校正シールが貼られオーナーの元へ返却。次の校正予定日をシールに記載して、大切に使いましょう。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。



⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



「計測・測定する機器」はそのものが計測・測定されている。

近年では、生鮮食品等で産地や生産者が可視化され、流通ルートを追えるようになりました。これをトレーサビリティと言います。スナップオンにおいても、トルクツール等で何を基準に精度を確保しているのかが追えるようになっていきます。



センサー

トルクレンチを測定するテスターに使用されるセンサーは専用の校正機器(ウエイト・バー)により年3回の校正を行います。

ウエイト・バー

テスターの校正時に使うウエイトや専用のバーは5年に一度、NISTに準拠したアメリカの工業規格専門機関に送られ、校正されます。これによりウエイトの重さ・バーの長さは、厳密に管理され、基準となるトルク値を正確に算出できるようになります。



NIST National Institute of Standards and Technology U.S. Department of Commerce

NISTは、アメリカ商務省の所管のある国立標準技術研究所。さまざまな工業製品に関する計測・測定の標準化や科学研究を行っている。厳しい設計・管理を要求される航空宇宙産業においても、NISTに準拠した運用が行われている。

校正されたトルクレンチ

スナップオン・テクニカルセンターに校正依頼されたトルクレンチは、NISTに準拠した厳しい管理が行われている測定機器により校正されています。つまり、校正されて帰ってきた皆さんのトルクレンチは、NIST規格にトレーサブル(準拠)であると言えます。

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまうことがあります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。▶▶▶



⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



ツールストレージを 永く安全に お使い頂く為に

今お使いのツールストレージは手狭ではありませんか？
収納方法は十人十色ですが、整理整頓は安全面や作業能率の基礎。
お仕事に合ったバランスの良い収納を心がけましょう。

引出しの重量配分をする。

上段 出勤回数の多いツールは取り出しやすい上段に集中しがち。上部が極端に重い場合、転倒の恐れがありとても危険です。本当によく使うツールだけが収納されているかチェックしてみましょう。



下段 下段付近はパワーツールやハンマー等、大きくて重いツールに向いています。



同時に複数の引き出しを開けない。
手順はとってもシンプル。「次を開ける前に閉じる」です。強く開け閉めする事もバランスを崩しとても危険です。



機械的な牽引又は激しい移動をしない。
大きな段差やガタガタ床にご注意!!
積載状態で移動させると強度以上の力が掛り、変形や破損する事があります。移動させる際には全段の引き出しを閉じ、施錠してください。



本体や引き出しを踏み台にしない。
不安定なため、転倒の恐れがあります。一点に力が集まってしまう変形や破損する事があります。



ストッパーを確実に掛ける。
不意に動き出す事を防止します。

モデル別に用途や許容重量によって本体や引き出しの強度、キャスターの種類も違ってきます。ツールの量や仕事内容でツールストレージを選び、移動はロールカートを活用するなど、スナップオンには安全で効率の良い製品がラインナップされています。スナップオンのツールストレージはプロフェッショナルのツールが帰る場所。即ち、プロの誇りを詰め込む場所なのです。



マグネット式ツールシルエツト
マグネット式になっており、引き出しに貼り付けることで収納場所を開けることなく何を入れてあるかが区別できます。



「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまう事があります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページでご覧いただけます。▶▶▶



⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. **セーフティーゴーグルの着用。**
- Use the right tool. **正しい工具を使用する。**(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. **正しく工具を使用する。**(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. **常に工具を整備する。**(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。



仕事の歴史は 工具が語る。



日本全国には世界に誇るべき経験と技術を持った熟練のメカニックが沢山います。



戦前から営業している都内のとあるガレージで…。

戦前から営業するこのガレージ。代々受け継いできた古い工具の中に1942年製のSnap-onソケットを見つけました。聞けば、このソケットも現役とのこと。そこで工具を永く使う秘訣をお聞きしました。

「締める時は問題はないけど、緩める時は気を使っています。サイズの合ったものを使用すること。工具にどのくらいの力が掛っているのかを意識すること。緩まなかった時、工具や方法を変えること。」

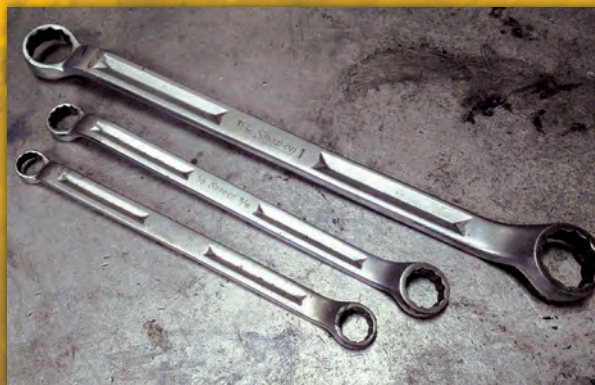
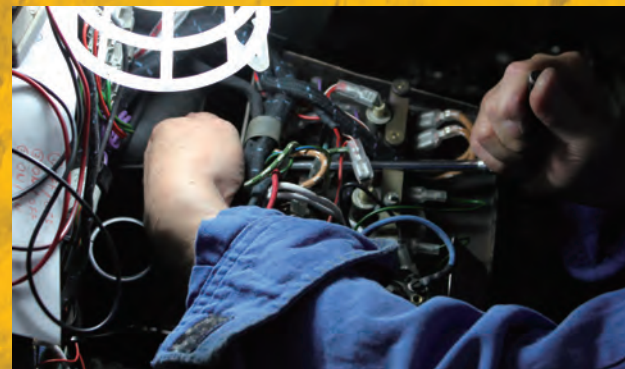
まさに「その時その時が腕の見せ所」「無理な使い方はしない」とおっしゃっていました。基本的でシンプル、誰もが解っている事ではありますが、それらを常に意識して継続するのは簡単な様で難しい事かも知れません。



工具の歴史が仕事の歴史を創り出す。

このガレージでは1942年のソケットの他にも、1950年代のレンチなども普通に使用しています。

「腕の見せ所」を守って使われてきた工具は即ち、「安全な仕事」の証明。モノで溢れる現代では、モノを永く大切に使うという思いは、気薄になりがちです。しかし、工具を大切に扱うという事は、仕事を安全に行う事を意味します。そして、それはお客様のクルマを丁寧に預かるという事に直結しているのです。「昔の物と現代の物」「昔の仕事と今の仕事」に一切変わりはありません。「安全な仕事」は、工具から車へ、そして、お客様へと伝わって行くのです。



「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまうことがあります。スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては弊社ホームページをご覧ください。



⚠ ツールセーフティーメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティーゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。

Snap-on

THE RIGHT WAY
EVERY DAY

SAFETY

安全確認強化!

慌てている時に限って遠回りしなくてはいけない場面に出会います。
そんな時こそ危険が潜んでいます。
このコーナーでは伝えきれない危険性も含めて「もしも…」を想定して
忙しい時ほど安全に作業をお願い致します。

倒れそうで
不安定な物

高速で回転
(往復)する物

飛散する物

極端な音や振動が
発生する物

重たい物

鋭利な物

極端に冷える物

発熱する物

先の尖った物

感電する物

刺激の有る物

勢いよく
跳ね返る物

ズッコけそうな物

等々…

- 安全は、全ての作業に優先する。
- 安全は、いかなる業務よりも重要である。
- 安全第一とは、当然に作業能率第二である事を意味する。



Nice!
Safety

「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまうことがあります。
スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。
消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては
弊社ホームページでご覧
いただけます。▶▶▶



⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全のために、効率のために。

Snap-on

THE RIGHT WAY
EVERY DAY

SAFETY

安全確認強化!

常に自問自答してください。あなた自身の安全について...
このコーナーでは伝えきれない危険性も含めて
「もしも…」を想定して忙しい時こそ安全に作業をお願い致します。

自分のカラダを
保護しているか。

力の掛け具合を
想像しているか。

ツールと作業の
マッチングは
大丈夫か。

ツールのシナリを
感じ取っているか。

重量物という事を
認識しているか。

無理な使い方
をしていないか。

近くに居る人は
安全か。

火気注意!
火気厳禁!!

メンテナンスは
行ったか。

大切に
扱っているか。

ズッコけ
ないか。

- 安全は作業能率の基礎であり、安全と能率は決して矛盾する事はない。
- 安全は、先ず、作業環境の整理整頓からはじまる。

等々...



「無理な使い方」は無意識のうちに行ってしまうことがあります。
スナップオンには無理な使用を想定した製品はありません。
消耗摩耗や無理な使用は保証対象外となります。

保証規定につきましては
弊社ホームページでご覧
いただけます。▶▶▶



⚠ ツールセーフティメッセージ ⚠ Do it Safely... Do it Right with Snap-on Tools.

- Use approved eye protection. セーフティゴーグルの着用。
- Use the right tool. 正しい工具を使用する。(作業に適した工具を使用しないと安全には繋がりません)
- Use the tool properly. 正しく工具を使用する。(良い工具を使用しても、正しく使用しないと工具を壊します)
- Maintain the tool regularly. 常に工具を整備する。(整備は次の作業に必要な不可欠です。消耗箇所を見つけたら交換しましょう)

SNAP-ON TOOLSは皆様の安全ために、効率のために。



Snap-on®